

令和6年7月9日

市政記者クラブ 様

名古屋市立工芸高等学校
校長 鈴木 彰芳
クラフトクリエイター同好会名
担当：深見 信規
電話：931-7541

工芸高校生が西山台幼稚園の困りごとを解決！！

～ものづくりの学校だからできる高校と幼稚園の連携について～

本校クラフトクリエイター同好会の生徒が、学校で学んだ知識・技術を生かして製作した「遊び道具」を西山台幼稚園の幼稚園児に寄贈します。

1. 背景

遊び道具（お店屋さんの柱（高さ 60cm、2 本）として使う遊び道具）を毎年、幼稚園の先生たちが、多忙な年度初めに使用済みの牛乳パックを再利用して手作りで用意していました。しかし、牛乳パックの柱は強度も弱く、すぐに壊れてしまったり、使用頻度が高くなるとどうしても補修をしなければならないなど、先生方が大変苦勞をしていました。

2. 経緯

昨年度、本校クラフトクリエイター同好会に、紙芝居舞台の製作を依頼していただいた名古屋市環境学習センター・エコパル名古屋の担当者様より西山台幼稚園の園長をご紹介いただき、困りごとのお話を直接伺い、今回の名古屋市立高校と市立幼稚園の連携につながりました。

3. 実施予定日、場所

日時：令和6年7月16日（火） 13時30～14時30分

場所：名古屋市立西山台幼稚園（東区亀の井2丁目41）



4. 実施内容

本校クラフトクリエイター部員が、製作物の使い方などを説明し、園児に寄贈します。

5. 取材にあたってのお願い

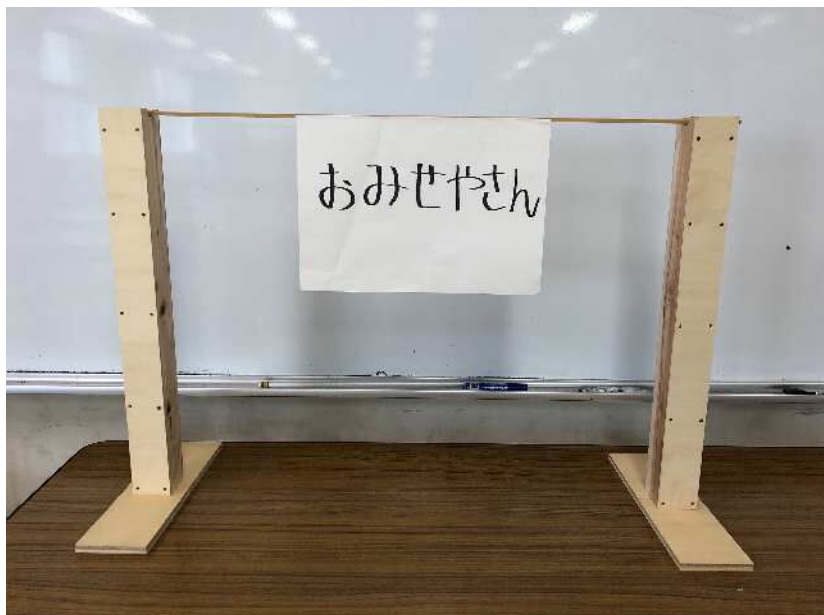
取材を希望される方は、7月12日（金）までに名古屋市立工芸高等学校 担当：深見・村山（電話 931-7541）までご一報をいただきますようお願いいたします。

工芸高校生が西山台幼稚園の困りごとを解決！！

～ものづくりの学校だからできる高校と幼稚園の連携について～

本校クラフトクリエイター同好会の生徒が学校で学んだ技術・技能を生かして名古屋市立西山台幼稚園の幼稚園児のために、遊び道具（お店屋さんの柱（高さ 60cm、2 本）として使う遊び道具）を部活動の一環として製作し、幼稚園に寄贈させていただいた事例をお知らせ致します。

これまで西山台幼稚園では、遊び道具（お店屋さんの柱（高さ 60cm、2 本）として使う遊び道具）を毎年、多忙な年度初めに幼稚園の先生たちが使用済みの牛乳パックを再利用して手作りで用意していたのですが、牛乳パックでの柱は強度も弱くすぐに壊れてしまったり、使用頻度が高くなるとどうしても補修をしなければならなかったりして、先生方が大変苦勞をしていました。そこで、今回の名古屋市立高校と市立幼稚園の連携によって、問題解決につながりました。この連携は、3つの意味があります。1つ目は、普段高校で学んでいる技術・技能を生かしたものづくりの実践を通して、主体的に学ぶ意欲を育むこと、2つ目に幼稚園の先生の意見を聞き取り困りごとについて解決することを通して自己有用感を高める取組であること、3つ目に園児・保護者・幼稚園の先生方に対して本校の高校生が遊び道具（お店屋さんの柱（高さ 60cm、2 本）として使う遊び道具）を通してものづくりの良さや楽しさを伝えることです。この取組によって将来園児が小・中学校の義務教育卒業後に迎える進路選択やキャリア教育の一助につながることも期待できます。また、名古屋市には「ナゴヤ学びのコンパス」があります。「学びのコンパス」とは、名古屋市の全ての子どもが学びを通して自分らしく、幸せに生きていくことができるよう、名古屋市の学びの基本的な考えを示したものです。今回の事例はこうした名古屋市の子ども（高校生・幼稚園児）の双方が高校と幼稚園が連携することでできる「学びのコンパス」の一事例であるとも考えます。7月16日（火）に西山台幼稚園にて贈呈式が実施されます。今後も、幼稚園での困りごとをものづくりで解決できる活動を続けていきます。



クラフトクリエイター同好会

担当：深見 信規

電話：931-7541